

## 横田基地所属の全人員に対する覚書

差出人：第374空輸航空団司令官

件名：公衆衛生非常事態における保護対策の更新について

1. 首都圏ならびに横田基地周辺自治体において、新型コロナウイルスの感染が引き続き我々に危険をもたらしています。2019年3月28日付の国防総省命令（DoDI）6200.03の「国防総省内における公衆衛生非常事態の管理」ならびに2019年12月10日付の米国空軍命令10-2519の「公衆衛生非常事態および公衆衛生に関する懸案事項」に従い、基地司令官としての権限で公衆衛生非常事態を宣言しました。以下に続くこれらの対策は米国軍人、米国軍に勤務する米民間人、全扶養家族、退役軍人および退職した米民間人、接受国の従業員、契約業者および基地に出入りするその他の人間を含め（しかしこれらに限定されるものではない）、現在横田基地にいる、もしくは所属する全ての人員が**守ることを義務付ける**ものです。この命令の対象者はミッション・パートナーおよびテナント部隊に所属する人員も含めます。これらの対策は改定版が発行されるか、私もしくは私の後任によって取り消されることが無い限り、2020年6月30日まで有効とします。この方針は、15日毎に見直しを行い、これらの措置を2020年6月30日まで継続すべきか、軽減すべきか検討します。

2. **地域の定義**： 米国空軍指示第36-3003の下、地域とは空軍兵が居住し、かつ居住地から勤務地に通勤する場所と定義する。これには、市、町、もしくは隣接する施設を含み、通常勤務時間帯に一般の通勤者が日常的に移動する場をさす。横田基地にとっての地域とは、青梅、入間、所沢、府中、多摩、八王子、檜原および奥多摩（市、町、村）の外縁と定義づける。東京都内（渋谷、新宿および六本木）は、地域には入らない。地域の詳細は、添付の地図を参照のこと。基地の人員は、第3項で禁止されない全ての活動を行う目的で、地域内の移動が認められる。基地の人員で、現在上記の地域以外に居住する者については、食事施設、食料品店、ショッピング、通学、および医療施設等の必要不可欠なサービスを利用する目的で、住宅のごく近辺を移動しても良い。全ての米国軍人は、勤務中、休暇中、特別休暇中、または短期特別休暇中のいずれに関わらず、上記に定義する地域に滞在しなければならない。日米地位協定が該当する米民間人従業員及び扶養家族は、上記に定義される地域に滞在することが強く勧められると

同時に、その地域を離れた場合、帰宅後は14日間の移動制限を受ける事とする。この方針に定義される任務上絶対不可欠な移動、もしくは絶対不可欠とされるサービスを受けるための外出以外の特別な事由で移動を必要とする者については、指揮系統内の将官/上長に許可申請を行う事ができる。第374空輸航空団の人員または指揮系統内に将官/上長がいない部隊については、私に許可申請を行うこと。

3. 地域における制限: 禁止される必要不可欠ではないサービスには、バー、ナイトクラブ、カラオケクラブ、社交クラブ、温泉、公共浴場、パチンコ、アーケード/ゲームセンター、マッサージ店、タトゥー/ピアス店、基地外のジム及びフィットネス・センター、基地外の美容室、理髪店、酒造場もしくは、人が密集、人との密接な接触または閉鎖された空間でCOVID防止対策が実施できない可能性のある他の全ての施設が含まれる。通勤、通学・通園については、自家用移動手段が無いもしくはそれを用いるのが実用的でない場合において公共交通機関を利用しても良い。他の全ての活動については、自家用車もしくは自家用移動手段のみが認められる。基地外での勤務については、安全に留意し、基地内で義務付けられた社会的距離と同様の距離を保つこと。基地外への通学および託児所の利用については、両親が学校の方針を踏まえた上で、それらの施設を利用する事で生じるリスクを考慮のうえ、個別に判断すること。

4. 任務上絶対不可欠とされる移動: 地域外における任務上絶対不可欠な移動は、この命令の有効期間中に許可されるものを指す。任務所絶対不可欠な移動とは、診療予約、他の軍施設での公用、日本政府関係者との面会予約、アメリカ大使館訪問、基地外の住宅探し等を含む（しかし、これらに限定されるものではない）。基地外での住居探しを行う場合はあらかじめ、安全指導や優先事項など、さらに詳しい情報を第374施設中隊住宅課と確認すること。何が任務上絶対不可欠とされる移動に該当するか不明な場合は、各々の指揮系統内で適宜相談すること。自宅または横田基地と任務上絶対不可欠な予約を取った場所との往復は、直行・直帰を原則とし、自家用もしくは公用の移動手段のみ使用のこと。

### 5. 基地訪問に関する方針

- a. 国防総省のIDカードもしくは横田基地へのアクセス許可証を所持する者は、引き続き基地への出入りが許可される。来訪者リストに記載された、またはスポンサー権限を持つ者にエスコートされた契約業者は、この命令の有効期間中、契約で義務付けられた業務を行うためのみに、引き続き来訪が許可される。契約業者は、基地内での業務を行うため指定された場所へのみ行き来が許可される。

b. エスコート権限は引き続き差し止めとする。公的な目的で、米軍人もしくは自衛隊員にエスコートされる訪問者は例外とする。この方針への例外許可は、テナント部隊においては指揮系統内の将官/上長に申請する。その他の全ての部隊については、私が基地司令官として許可権限を持つ。許可申請書は、既に配布済み。

6. **集会:** 全ての人員は、集会の人数を20人以下に制限すること。**中隊長（ミッションパートナー/統合軍の人員においてはそれに相当する階級の者）は、上限50人までの集会を許可する権限を持つ。**人員は、20人以下の集会であっても、社会的距離（6フィートまたは2メートル）を実施、もしくはマスクを着用のこと。ただし、肉親のみと一緒にいる場合は、これには該当しない。**定義された地域外に在住する人員**に関しては、社会的距離を保つことが可能な場合は、自宅付近においてペットの散歩や屋外での活動を行う事が出来る。**群衆がいる可能性のある、密接な接触の可能性があり、もしくは閉鎖された空間で、COVID感染防止策を取れない場に行き当たった人員は、その場から直ちに離れること。**集会について不明な点がある場合は、各々の指揮系統内で適宜相談のこと。

7. **休暇:** 休暇中は自宅または**定義された地域**に留まること。休暇については、各々の監督官から許可を得る事が出来る。

#### 8. マスクの着用:

a. 米国防長官の指導に従い、横田基地もしくは多摩サービス補助施設の全人員は、公共の場あるいは職場において6フィートの社会的距離を保つことが出来ない場合、布製品で顔面を被覆すること。この規則は個人の住宅内、または定義された地域内での宿泊施設では適用されない。生後36か月またはそれ以下の子供については、マスク着用は要求されない。チャイルドディベロップメントセンター（基地の託児所）に預けられる子供についてもマスク着用は要求されない。複数人が同じ車両に同乗する場合、マスクの着用が必要となるが、近親者同士が同乗する場合においては、その限りではない。

b. **更に、横田基地または多摩サービス補助施設を訪問を希望するすべての人員は、基地外の定義された地域において社会的距離が保てない場ではマスクを着用すること。**日本国民は、公共の場において通常マスクを着用するが、我々の人員も、感染症拡大を防止するためにCOVIDへの対応が求められる今般、また、我々が責任をもって行動しているイメージを接受国の国民に広く持ってもらうために、我々もマスクを着用すべきである。加えて、基地外でのマスク着用は、予防および危険を減少する対策であり、これを実行することで、基地外で安全に行える活動の幅を広げることにつながる。人員は、屋外での運動の最中は、マスクを外しても良い。人員は、レストランで食事をする最中はマスクを一時的にはずしても良

いが、レストランに入る際は着用していること。また食事を終えたらマスクを再び着用のこと。人員の中で、この命令の有効期間中に、公共の場でマスク着用を拒否する者、および上記の例外に該当しない者でマスク着用を拒否する者は、基地へのアクセスを一時的に拒否されるか、立ち入り禁止となる可能性がある。

9. **接触者の追跡:** 全米軍人、民間人、日米地位協定が適用される扶養家族、接受国従業員は、毎日、接触者の追跡記録をつけること。これらの記録は、医療従事者のみが閲覧する。接触者追跡記録は以下の条件が満たされた場合に要求される:

- a. マスク着用の有無に関わらず、他人と6フィート（2メートル）以内の距離で10分以上一緒にいた場合；（**基地外一場所ならびに滞在した時間を記録する**）
- b. 介護中、同居中、または訪問（同居する肉親は除く）中に接触した場合；
- c. 医療施設の待合室で同時に居合わせた場合（時間、クリニックの名称、および待合室の場所を示すこと。全ての患者の氏名は記載する必要なし）；
- d. 他人の飛沫を直接浴びた場合（例 側で咳をされた、咳やくしゃみをした）。

10. 全ての人の安全のために尽力していただき感謝します。これらの対応策が家族に負担を強いていることは承知しています。しかし、我々のコミュニティを守るためには、これらの対策が絶対に必要です。基地に暮らす、または働く人員へのリスクを軽減するには、皆さんが全力で対応する事が不可欠です。

11. これらの対応策について不明な点がある場合は、各々の指揮系統内で相談するか、横田基地広報部（[メールアドレス374aw.pav3@us.af.mil](mailto:374aw.pav3@us.af.mil)）まで問い合わせてください。

司令官

オーティス C. ジョーンズ大佐

添付：

2020年6月12日付横田基地における地域の範囲